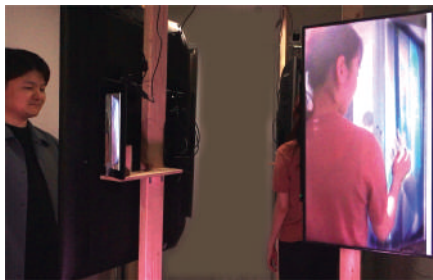




Kaoru Sasahara

Minori Manabe

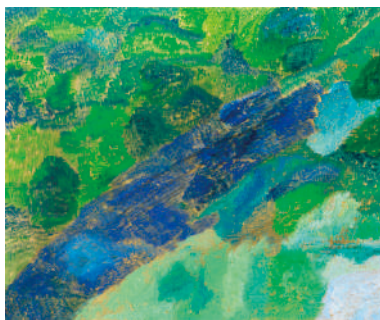


Seichi Kobayashi

会場

TIB (Tokyo Innovation Base) SQUARE-1
東京都千代田区丸の内3丁目8-3

Michiko Okubo

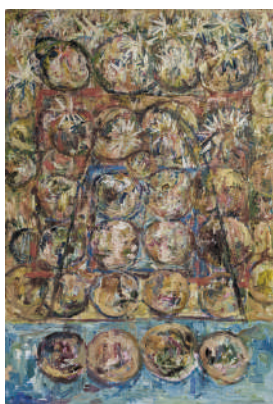


Ran Kokubun



平日 10:00-21:00

土日祝 10:00-17:00



Kazuki Mabuchi

¥ 入場無料

若手アーティストに、創作場所を提供し、
継続的な活動を支援する取り組みとして
2023年に立ち上がった「START Box」。
(主催：東京都及び公益財団法人東京都歴史文
化財団 アーツカウンシル東京) アトリエで活
動した作家の中から9名の作品を展示
します。



Yuri Yamada

Ryo Ogata



Takatsugu Saito

START Box
EXHIBITION
vol.4 2025.8.23 (Sat) —
—————> 8.31 (Sun)

参加作家

大久保通子 / Michiko Okubo

1989年群馬県生まれ。慶應義塾大学卒業後は約1年間IT企業に勤めるが、絵画制作の活動をするため退職し、多摩美術大学造形表現学部で油彩を学ぶ。三菱商事アート・ゲート・プログラム入選(第37,39,41回)。2020年「ピクトリー・ブーク展」出品(佐藤美術館)。ナカジマアート(銀座)、大阪高島屋、横浜高島屋、松坂屋上野店で個展。その他グループ展出品。現在のテーマは鑑賞者の「刺激となる作品」を作ること。絵画で抽象や具体に限らない制作をしている。鑑賞者の経験や思いを重ねてもらい、作品や制作者とのやり取りをきっかけに新しい視点が生まれ、日々の生活の刺激となるような作品を目指す。



尾形凌 / Ryo Ogata

2001年4月東京都生まれ。2020年4月東京藝術大学美術学部先端芸術表現科入学、2024年3月学部卒業、東京藝術大学先端芸術表現科修士2年在籍。現代における妖怪や不可視の存在たちを作品の主題とし、絵画や立体、アニメーションなどを通じて表現している。加えて妖怪と人間の狭間やあの世とこの世の狭間に存在する世界を描く事でそれらを可視化することを試みている。



撮影：竹之内祐幸

國分蘭 / Ran Kokubun

東京と北海道を拠点にフリーランスのフォトグラファーとして活動。地理的、歴史的な境界をテーマに作品を制作する。主な展覧会に「Looking for Herring」(天神山アートスタジオ、札幌)、「In the Pool」(KG+五条坂京焼き登り窯、京都)「Behind the Terrain」(Vogyakarta, Hanoi, 東京の巡回展)「Yukisnowschesneeg」(Atelier Alen, Munich)など。海外のアートフェアにも出展。



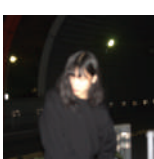
小林誠一 / Seiichi Kobayashi

1994年新潟県生まれ。作品制作の過程やそれに伴う肉体労働に焦点を当てた絵画を作っている。主にスクリーン印刷を用いた制作を行っており、プログラミングにより生成した画像を油彩でカンヴァスに定着させる「パターンペインティング」、スクリーンとその目止め剤のみを使い、版そのものの画像を出力する「Crumpled (くしゃくしゃの)スクリーン」などのシリーズがある。



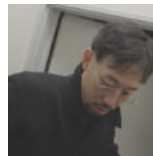
齊藤隆嗣 / Takatsugu Saito

1998年東京都生まれ。東京藝術大学大学院絵画専攻修了。政治哲学や幼少期の記憶を手がかりに、架空のファウンドオブジェクトやインスタレーションを制作。絵画や立体、グラフィックなど多様なメディアを通じて、異界とそこに至る手段、そこに関わる私たちの振る舞いや関係性の再考を促す。近年の主な展示に個展「It's Only a Paper Moon」(Art Studio KYOK, 2023)、グループ展「DOOMS」(SOM gallery, 2023)「1998_oid」(LURF gallery, 2025)など。



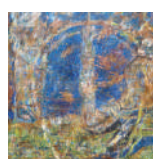
笹原花音 / Kaoru Sasahara

1997年東京都生まれ。東京都立工芸高等学校卒業。普段から目にする日常のオブジェクトをデフォルメし、機能性を消失させることによって、空間や生活環境における構成の再解釈を見る人へ与える作品を制作している。主な展示歴にP.O.N.D 2023(渋谷 PARCO)、海外でのグループ展にも参加し、作品の発表を続けている。



馬淵一樹 / Kazuki Mabuchi

2019年東京藝術大学大学院美術研究科GAP専攻修了。誰の話も入ってこない、穏やかな部屋にいる。窓を開けて外の風を中へと入れる。何が聞こえる?ぼけっとした部屋の中へと混じり入る、そんな気分。ふと他人の描いた絵なんて見ても見なくていいものだと思えたりもする。そんな気分やそんなことが重要だと思っているが、そんな時に自分は美術の意味を考えるが、苦しみも痛みも決して美しくはなく、ただただ無言のままでしかない。じっと黙ったままそこにいる。絵のことを考える。風があるから目的もなく歩くようにできれば良いのかもしれない。



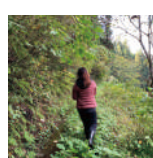
眞鍋美祈 / Minori Manabe

東京都生まれ。言語表現、人間の視点と身体性に着目した作品制作を主軸とし、誰もが身体を通して楽しみ、物事をとらえ直すことのできる体験の創出を目指している。個展に「multi-lingua-body」(公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [スタートアップ助成])、受賞歴にSICF20 ワールドスタジアムホール京都奨励賞など。東京大学工学部機械工学科卒業、同大学大学院学際情報学府学際情報学専攻先端情報表現コース卒業。



山田ゆり / Yuri Yamada

東京都出身。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程在籍。フィールドワークや住民インタビューを通じて、個人が認識する「社会」のイメージの変容を探索し、インスタレーション作品を制作する。また、リサーチャーとして、地域型アートプロジェクトにおけるアーティストと地域住民の関係性を研究している。主な展示に「狭間」(ベルリン日独センター、ドイツ・ベルリン、2024)、「差異をまなざす vol.4 COMPASS」(ミュンスター美術アカデミー、ドイツ・ミュンスター、2024)など。



STARTBoxとは

本事業は、アトリエ等を確保することが難しい若手アーティストに創作場所を提供し、継続的な活動を支援する、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の事業です。2023年4月には、渋谷区笹塚・幡谷にある都営住宅の空き店舗を活用した創作スペース「START Box ササハタハツ」、2023年11月には、お台場の東京都住宅供給公社の空き店舗を活用した創作スペース「START Box お台場」をオープンし、これまで56名が利用しています。また、オープンアトリエ等による地域やアーティスト同士での交流や、文化イベントによる作品発表の場の提供などを通じて、アーティストの活動支援を行っています。



STARTBox

公式HP

YAUとは

NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社により組成された「有楽町アートアーバニズム実行委員会」が2022年2月に立ち上げた、まちがアートとともにイノベティブな原動力を生み出すためのプログラムです。アーティストの稽古場や制作場所、様々な領域に開いたコワーキングスペース、トークイベント「YAU SALON」を実施するなど、ビジネス街においてアート&ビジネスの核となるコミュニティ形成に取り組んできました。今後も街との接点を広く持つことで「アートアーバニズム」を継続・実践し、永続的な活動体となることを目指しています。

YAU

会場構成：tandem

インストール：Artifact
プロジェクトマネジメント：金森千紘(YAU)、
山本さくら(YAU)
宣伝美術：ヤング荘

会場の入場に際して

アプリのご登録が必要です。
アプリダウンロードと詳細はこちら。



アクセス

- JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」京橋口 | 徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D9出口すぐ
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」1出口 | 徒歩3分

お問合せ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援課
tel: 03-6261-5420 (平日10:00~18:00)

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

企画協力：有楽町アートアーバニズムYAU

会場協力：TIB (Tokyo Innovation Base)



YAU

TiB
Tokyo Innovation Base

START Box × YAU 関連イベント

01

オープニングレセプション※予約不要
8月23日(土) 18:00~20:00

02 トークイベント ※参加無料・要予約

YAU SALON vol.34「思考のはじまりとかたちになるまで」
8月27日(水) 18:30~20:30

登壇者：南条嘉毅(美術家)、鶴岡優子(寺田倉庫株式会社 広報
グループリーダー) モデレーター：深井厚志(YAU)

作品や事業がかたちになるまでには、思索や実践を重ね、他者と関わりながら過ごす時間が欠かせません。本イベントでは、土地に根ざした風土や人々との関係性を大切にしながら制作を続けるアーティスト・南条嘉毅さんと、情報と対話の場づくりに取り組む鶴岡優子さんを迎え、アートと起業、それぞれの視点から「かたちにする力」について考えます。

「アーティストトーク」8月31日(日)

1部：14:00~15:00 大久保通子、尾形凌、國分蘭、小林誠一

2部：15:30~16:30 齊藤隆嗣、笹原花音、馬淵一樹、眞鍋美祈、
山田ゆり

モデレーターに松本美貴子(ボラミュージアム アネックス ディレクター)を迎えて参加作家とのトークイベントを行います。

03 ギャラリーツアー

下記日程でスタッフによるギャラリーツアーを開催します。時間になりましたら、受付にお越しください。

8/26(火)、27(水)、29(金) 12:30~13:00

8/24(日)、30(土) 15:00~15:30



その他のイベント詳細は
ウェブサイトにて
ご確認ください。